

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語 Communication I	2	1年I類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
****	BIG DIPPER: English Communication I (数研出版)		『Data Base 3000』(桐原書店) ハンドアウト

【科目の到達目標】(Purposes of the Course) 「T-SEEGs 天理学園英語教育ガイドライン」より

<Reading>

1. 簡単な説明文を理解することや、図や表から情報を得ることができる。
2. 英検準2級レベルの文章(300語の長文)を3分程度で読み、概要を理解することができる。

<Listening>

1. 日常生活での身近な話題や簡単な説明・指示を理解することができる。
2. 授業において先生の英語の指示を理解できる。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、各種プレゼンテーション、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	BIG DIPPER	Reading		Listening		
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動	
一 学 期	4	Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に英文を読みながら、辞書を活用できる。 ・発音記号(母音および基本的な子音)を理解する。 ・英文を前から読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出語彙確認 ・スラッシュ・リーディング ・音読活動 ・内容確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関連した指示がわかる。(Classroom English 等) ・紛らわしい母音・子音、連続する子音、カタカナとのちがひ、つながる音、消える音を理解し、それらを意識して発音できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者が授業内の指示等を英語で行い、その支持に応じた行動が取れる。 ・読み上げられた単語を書き取る等のディクテーション 	
	5						
	6						
		中間考査 Midterm Examination					
	7		Lesson 2 Lesson 3 Lesson 5	英文を英語の語順通りに読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・新出語彙確認 ・スラッシュ・リーディング ・音読活動 ・内容確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・変化する音、聞き取りにくい短縮形の音を理解し、意識して発音できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み上げられた単語を書き取る等のディクテーション。
	期末考査 First-term Examination						

	月	BIG DIPPER	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	ねらい
二 学 期	9	Lesson 4	英文を英語の語順通りに読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出語彙確認 ・ スラッシュ・リーディング ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ディクテーション、オーバーラッピング、シャドーイング練習を通して、まとまりある英文を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ディクテーション。
	10					
	11	Lesson 7	大意を把握できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出語彙確認 ・ Recall Protocol ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短い会話文を聞き取り、内容を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容確認テスト、ディクテーション。
	12	Lesson 6 Lesson 9				
	三 学 期	1	Lesson 8	大意を把握できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出語彙確認 ・ Recall Protocol ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短い会話文を聞き取り、内容を理解できる。
2		Lesson 10				
3			学年末考査 Final Examination			

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

外国語は、教祖の教えを世界の人々に伝えるための重要な道具です。その国や地域に住む人々のことばと文化を理解し、陽気ぐらし世界を実現させるために、まずは身近な外国語である英語をがんばってみませんか。また、同時に英語とはコミュニケーションの道具であるので、積極的に学習した表現を使用するなどして、英語の楽しさを実感することができます。

また、お道の書物の多くは外国語に翻訳されており、英語版の『おふでさき』や『天理教教典』なども出版されています。英語を通して原典に親しみ、理解することも可能です。天理高校生にとって英語の学習は、信仰を深めるという観点からも、意義のあるものに違いありません。

そして、自分の興味・関心のあるスポーツなどのさまざまなものは、必ず英語と結びつけることができます。数をこなし、覚えるべきものはしっかり覚え、大学入試を含め自分自身のために役立つ英語を、元気よく学びましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語コミュニケーション I	4	1年・2類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
****	BLUE MARBLE (数研出版)		システム英単語 BLUE MARBLE ワークブック

<p>科目の到達目標</p> <p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>定期考査70%以上。平常点としては、単語・構文の小テストの点数、音読や暗唱の確認テスト、授業中の態度を考慮して30%以内とする。</p>

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	Lesson1 Friendships in the Digital Age	input した英文を intake することを目指す。内容を理解した英文をしっかり暗記していくことで、output できる表現を増やしていく。	授業中は T/F、part 内の重要構文を中心に解説を進める。その後音読練習で本文の暗記を目指す。	リスニングの試験において大切なことは、その音を聞いて、瞬時にその単語の意味を理解できるということである。復習を重ね、教科書本文の単語を全て聞き取れることを目指す。	英語の音に慣れることを目指し、単語から短い文のディクテーションをする。正しい音で発音し、毎日本文の音読に努める。
	5	Lesson2 Expos: Past, Present, and Future				
	6	Lesson3 The Fascinating World of a Professional Storyteller				
	7	Lesson4 Changing Behavior in Unique ways				
		中間テスト				
		期末テスト				

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	Lesson5 A Journey to Peace				
	10	Lesson6 Humans Evolve with Measurements 中間テスト				
	11	Lesson7 Bio-logging: Discovering Animals' Secrets				
	12	Lesson8 What to Do with Too Many Tourists 期末テスト				
三 学 期	1	Lesson9 Surviving in the Information Age				
	2	Lesson10 The Spirit of Zen: Less Is More				
	3	学年末考査				

その他 (履修上の留意点・大学等進学のための学習など)

復習を大切にする。授業中に課された課題 (シス単の予習、小テスト、本文音読・暗唱など) に取り組む。
この1年間しっかり土台作りを頑張りましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語 Communication I	4	1年3類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
****	BIG DIPPER English Communication I (数研)		基礎から学ぶ英語 (学研) Data Base 3000 (桐原書店) プリント等

科目の到達目標
【Reading】 簡単な説明文を理解することや、図や表から情報を得ることができる。
【Listening】 日常生活での話題や簡単な説明・指示を理解することができる。
【Writing】 興味・関心のあることについて簡単な文章を書くことができる。
【Speaking】 日常生活で簡単な用を足すことや、興味・関心のあることについて自分の考えを述べることができる。

評価の観点と方法について
定期考査、小テスト、パフォーマンステスト、提出課題の内容、授業態度等を総合的に判断して決定する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	「基礎から学ぶ英語」 Lesson 1 be 動詞 Lesson 2 一般動詞 Lesson 3 名詞・代名詞	<ul style="list-style-type: none"> 1学期は中学校の文法の復習を中心として、副教材「基礎から学ぶ英語」を用いる。 中学校の内容が分からないまま高校の学習に進まないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 英単語のクイック・レスポンス 単語テスト プレゼンテーション ペアワーク 音読活動 (さまざまな方法で実施する) スラッシュリーディング オーバーラッピング
	5	「BIG DIPPER」 Lesson 1 Part 1・2 <中間考査>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「BIG DIPPER」を使用し高校の学習がどういうものなのかを理解してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> シャドーイング ディクテーション 確認テスト など
	6	「基礎から学ぶ英語」 Lesson 4 疑問詞 Lesson 5 進行形 Lesson 6 未来を表す文		
	7	「BIG DIPPER」 Lesson 2 <期末考査>	<ul style="list-style-type: none"> 町おこしのキャラクターの役割について考える。 	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	「基礎から学ぶ英語」 Lesson 7 形容詞・副詞・前置詞 Lesson 8 助動詞 Lesson 9 不定詞・動名詞		一学期に同じ
	10	「BIG DIPPER」 Lesson 3 <中間考査>	・動物から分かるリーダーシップについて考える。	
	11	「基礎から学ぶ英語」 Lesson 10 さまざまな文や表現 Lesson 11 いろいろな文型 Lesson 12 受動態 Lesson 13 現在完了形		
	12	「BIG DIPPER」 Lesson 4 <期末考査>	・スポーツの歴史について学ぶ。 またその魅力を読み取る。	
三 学 期	1	「基礎から学ぶ英語」 Lesson 14 関係代名詞		一学期に同じ
	2	Lesson 15 名詞の修飾 Lesson 16 接続詞 Lesson 17 比較		
	3	「BIG DIPPER」 Lesson 5 <学年末考査>	・AI（人工知能）の働きを知り、 人とAIの関わり方について 考える。	

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

みなさんの中から将来、スポーツや音楽において世界でプレーする人が出てくるかもしれません。そのときに英語が使えるら、世界中の人々とコミュニケーションを取ることができます。将来世界で活躍することを目指し、高い志を持って高校での英語の学習に取り組んでください。英語が分からないままにしておくのではなく、理解しようと努力してください。

英語の基本は語彙力です。毎週行われる単語テストの合格を目指して勉強してください。また、将来英語が使えるようにするための素地として、英文を頭に残しておくことも大切なので、本文を理解した後にしっかり音読をし、使える表現を増やしていきましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理表現 I	3	1年1類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	be English Logic and Expression I Clear	be Clear Essential Grammar Book / / 総合英語 be	

<p>科目の到達目標</p> <p>「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。</p>

<p>評価の観点と方法について</p> <p>習熟度を測ることはもちろん、生徒個々の努力も十分に評価する。</p> <p>定期考査に加え、平常点を加味して評価する。</p> <p>平常点は、宿題・提出物の内容、小テスト、学習態度等に基づいて算出する。</p>

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	Lesson 1 現在	基本的な時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて書いたり話したりすることができる。	・各単元の文法事項の確認をし、でてきた表現を使い実際にペアワークをすることで、理解を深め、定着を図る。	集中して授業に参加しているか、意欲的に授業に参加しているかをチェックする。
	5	Lesson 2 過去	現在・過去・未来完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別することができる。	・ALT との授業でネイティブの英語を実際に聞き、活動する中でコミュニケーション力を培う。	各単元がどの程度理解できているかをチェックする。
		中間考査			宿題、課題の提出状況をチェックする。
	6	Lesson 3 未来			
	7	Lesson 4 完了形①			
		Lesson 5 完了形②			
		期末考査			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	Lesson 6 助動詞①	助動詞のそれぞれの意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現することができる。		
		Lesson 7 助動詞②			
		Lesson 8 助動詞③			
	10	Lesson 9 受動態	受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝えることができる。		
		中間考査			
		Lesson 10 不定詞①	不定詞の様々な用法を学び、より詳細な情報を伝えることができる。		
11	Lesson 11 不定詞②				
	Lesson 12 不定詞③				
	12	期末考査			
三 学 期	1	Lesson 13 動名詞	動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を使用した多様な文で伝えることができる。		
	2	Lesson 14 分詞①	名詞を修飾する用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができる。		
	3	Lesson 15 分詞②			
		学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

発信力やアウトプット能力といった応用を利かせるためには、語彙力や文法などの基礎が欠かせません。授業と家庭学習を大切にして、基礎的な力を着実に養っていきましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理・表現 I	3	1年・2類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
****	EARTHRISE (数研出版)		チャート式 EARTHRISE (数研出版) EARTHRISE 問題集 (数研出版)

<p>科目の到達目標</p> <p>英語を理解するうえで必要不可欠な文法・語法の基礎をしっかりと身につける。</p>

<p>評価の観点と方法について</p> <p>定期考査は70%以上、平常点は30%以下として評価する。</p> <p>平常点は、小テスト、宿題・提出課題の内容、学習態度等に基づいて算出する。</p>

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	Lesson0～2 文の組み立て方	文法の土台作りに励む。	それぞれの項目の問題を解きながら、参考書やワークブックを用いて、基本事項を確認・復習する。	各単元・項目がどれくらい理解できているかをチェックする。
	5	Lesson3～6 動詞と時の表し方			
		中間考査		間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。	授業に集中しているか、積極的に参加しているかをチェックする。
	6	Lesson7～9 助動詞			小テストの取り組みや宿題の提出状況をチェックする。
	7	Lesson10～11 受動態			
		Lesson12～15 不定詞			
		期末考査			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	Lesson16～17 動名詞			
	10	Lesson18～20 分詞			
		中間考査			
	11	Lesson21～24 関係詞			
		Lesson25～27 比較			
	12	期末考査			
三 学 期	1	Lesson27 続き			
	2	Lesson28～29 仮定法 Lesson30以降 (進度を見ながら)			
	3	学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

大学入試問題の中で、正答率が50%の問題があったら、皆さんはどのように思いますか。2人に1人が解ける問題なので、何とか正解したいと思いませんか。実は、入試問題では、正答率50%の問題を落とさないことが非常に大切になってきます。実は、そのレベルの問題は高校1年生で学ぶ基本からの出題が多く、いかにこの1年間の土台作りが大切であるかということが見えてきます。地道な学習を粘り強く頑張ってください。